

橋復興副大臣、長沢復興副大臣及び務台復興大臣政務官
福島第一原子力発電所視察後 ぶら下がり会見録
(平成28年12月21日(水) 15:55～16:05 於) 福島県双葉郡富岡町)

1. 発言要旨

復興副大臣の橋です。本日は福島担当の長沢副大臣と総括担当の務台政務官と福島第一原子力発電所を見学し、作業の状況を拝見させていただきました。毎日従業員の方々が努力されており、一步一步災害時の状況から立ち直ってきており、作業を進めていただいていることを実感しております。また、汚染水対策、使用済み核燃料の取り出し、作業環境の改善、あらゆる面で着実な成果を上げていることを認識しました。多くの方々がご苦勞されて廃炉作業に精進されている姿を拝見しました。ぜひそんな思いで前に進んでいただきたい。また、政府の復興が一丁目一番地、廃炉・汚染水対策が要の仕事として取り組んでおりますので、頑張っている皆様とともに努めてまいります。

2. 質疑応答

(問) 汚染水対策が着実に進んでいることを実感したとおっしゃられましたが、特に目についた成果としてどのように受け止められておりますでしょうか。

(答) 今回は2回目の訪問。4号機の使用済み燃料の取り出しが終わって、3号機のカバー取り付け、また1号機がカバーを取り外した等、以前お伺いした時と比べるとずいぶん変化したと感じています。凍土壁をしっかりと作ってこられて、漏れが減っていると聞いていますし、前回と比べるとフェーシング等をして作業環境を大きく改善し、線量が下がってきていることが強く印象に残りました。それにより仕事を進めるペースが上がってきております。時間とともに進んでいることを実感しました。

(問) 長沢副大臣、務台政務官からもお願いします。

(答) (長沢副大臣より) 橋副大臣と大きく変わりませんが、廃炉・汚染水対策で環境が大きく変化したことを実感しました。もちろん、表面からであります。凍土壁が凍っていることを確認しましたし、地下水を処理した上で出していくパイプのルートや、全体の敷地の中における配管配線の整備状況が非常に分かりやすく、安全にできるように整備されていることがとてもよかったと思います。作業員の方々の食事の環境を含めて労働環境が格段に良くなっており、作業員の方々が安全に仕事をできるようになってきているのだなと実感しました。これからも情報公開をきちんとしながら進めていただきたいなと感じました。

(別添)

(務台政務官より) 初めて参加させていただいたが、整然と作業が行われており、6,000人規模の皆様がほんとうに使命感を持って対応されている雰囲気をひしひしと感じました。中学生の皆様が作業員の皆様に激励するための作った「日本のために頑張ってください。」と書かれた寄せ書きがありましたが、それを見て作業員の方々がやる気を出してやっているのだと感じました。全然暗いイメージがなく、意外にも明るく使命感を持って、張り詰めた中にも使命感を感じる雰囲気を改めて感じさせていただきました。それ以外は同じ印象をいただきました。

(以 上)